

ans Report

ansの関わった新しい現場を紹介します

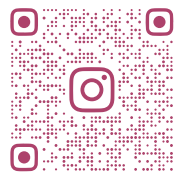
19

山形県遊佐町 森の公園 遊ぼっと
手なが足なが遊具

民話をモチーフにしたモルタル造形遊具



Instagramはこちら



ANS_ZOUKEI

Artistic 芸術的で

Nice 魅力のある

Space 空間を

- デザイン力
- 模型による造形物の事前検証
- 高度造形モルタル工法
- 遊具の安全規準に適合
- 鉄筋造形技術
(有機的な造形が可能に。)

株式会社 アンス

〒201-0003

東京都狛江市和泉本町1丁目7番4号

【TEL】03-5761-5762 【FAX】03-5761-5763

【URL】<https://www.ans-art.co.jp>

【E-mail】info@ans-art.co.jp



HPはこちら

山形県遊佐町にある森の公園「遊ぼっと」は、自然活用型公園です。この公園に三崎山の伝説となっている民話「手長足長伝説」をもとに、降参した後の優しくなった手長足長という鬼をモチーフにモルタル造形遊具を製作しました。この遊具は、たくさんの遊び要素(スライダー・足ツボ・クライマー・トンネル・ステップなど)が盛り込まれており、子どもたちが体をいっぱい動かして楽しむ事ができるものです。



公園内(グランドゴルフコース)の風景



鳥海山/遊佐からの風景



公園の風景

施主 : 山形県遊佐町

完成 : 平成27年3月

住所 : 山形県飽海郡遊佐町菅里308-1

最寄り駅 : JR羽越本線:吹浦駅から車で約13分

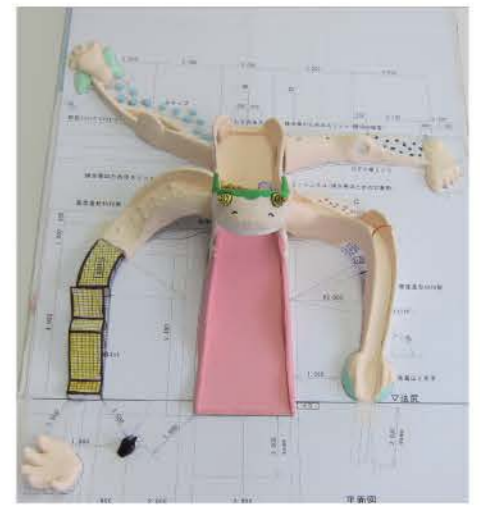
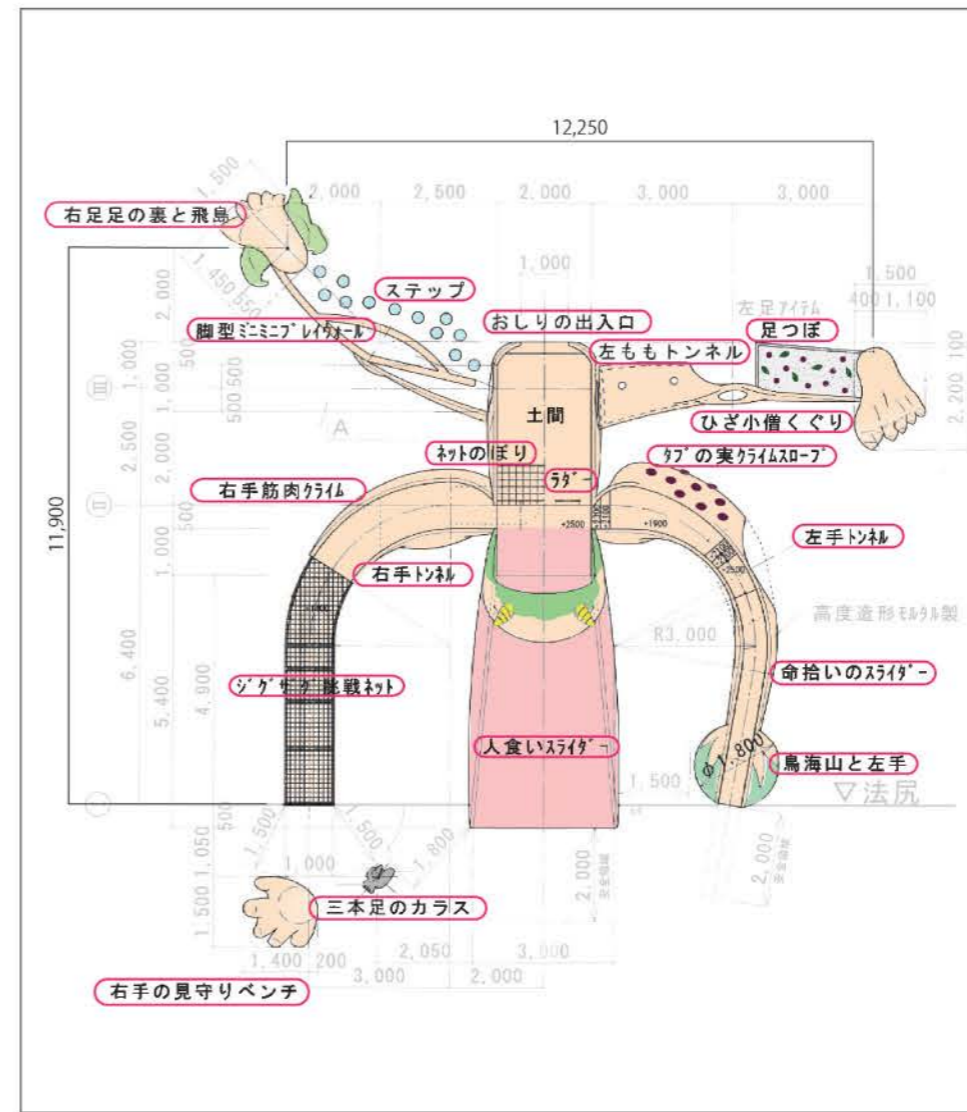
遊ぼっと(遊佐町菅里字菅野地内)

道の駅鳥海ふらっと東側、公園管理棟の南側斜面

大師に降参して、優しくなった手長足長という鬼の遊具です。
三本足のカラスと一緒に子どもたちの遊ぶ姿を見守っています。

仕様

○本体：高度モルタル造形



全体模型でバランスの検証



部分模型で細部の検証

三崎山の手長足長伝説

今から 1200 年程前、三崎山に恐ろしい怪物が住んでいて、そこを通る旅人を捕らえて食べていました。この怪物は、手が長くて鳥海山まで届き、足は飛鳥までひとまたぎできたといいます。住んでいた岩の洞窟付近には人間の骨が散らばっていました。この怪物を退治しようと出かけていった武士も帰ってくる人はほとんどいませんでした。道行く人々はおそろおそろ三崎山を通過していったのです。

ところが、関所付近の林に三本足のカラスが住んでいて、近くに手長足長がいるときは「ウヤ」と鳴き、いないときは「ムヤ」と鳴きました。ここを通る人々は、これを聞き分けて通るようになりました。それ以来、この関所を「有耶無耶の関」と呼ぶようになりました。

折から来合わせた慈覚大師はこの手長足長の話を聞いて退治に出かけましたが、捕らえられてしまったのです。しかし手長足長は、大師の鋭い眼力と慈しみの心に負け、しまいには、降参してしまいました。大師は、散らばっている人間の骨を集めて埋め、そこには五輪塔を建てて冥福を祈りました。

その後、手長足長が人間の肉を食べなくなると、タプの実を食べさせました。それからというもの、道行く人々も、カラスの鳴き声を聞き分ける必要も無くなり、安心して通ることができるようになったのです。大師が、三崎を去る時に、たくさんのタプの実を蒔いていきました。それが現在、三崎山にうっそうと茂るタプの木なのです。

(遊佐町談本より)



右手の見守りベンチ



三本足のカラス (材質：黒御影石)



ステップや平均台



ラダーやネットのぼり



タプの実クライム



説明板